



平成 28 年 11 月 公 表

# いちき串木野市財政事情

人 口 28,993 人

世帯数 13,461 世帯

(平成 28 年 9 月 30 日現在)

## 1. まえがき

平成27年度の決算及び平成28年度の予算状況についてお知らせします。

市民の皆様には、この「財政事情」により昨年一年間に実施された事業等を今一度振り返り、財政事情を御認識いただくとともに、市政の推進に一層の御協力をお願いいたします。

## 2. 平成27年度一般会計決算状況

(単位：千円、%)

	歳入	歳出	差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
27年度	18,023,531	17,383,465	640,066	184,704	455,362
26年度	16,191,491	15,351,202	840,289	358,575	481,714
増減額	1,832,040	2,032,263	▲200,223	▲173,871	▲26,352
増減率	11.3	13.2	▲23.8	▲48.5	▲5.5

決算額は、歳入総額180億2,353万1千円(前年度比11.3%増)、歳出総額173億8,346万5千円(前年度比13.2%増)で、差引額6億4,006万6千円(繰越明許費繰越額1億7,522万5千円及び継続費繰越額947万9千円を含む)を翌年度に繰り越しました。

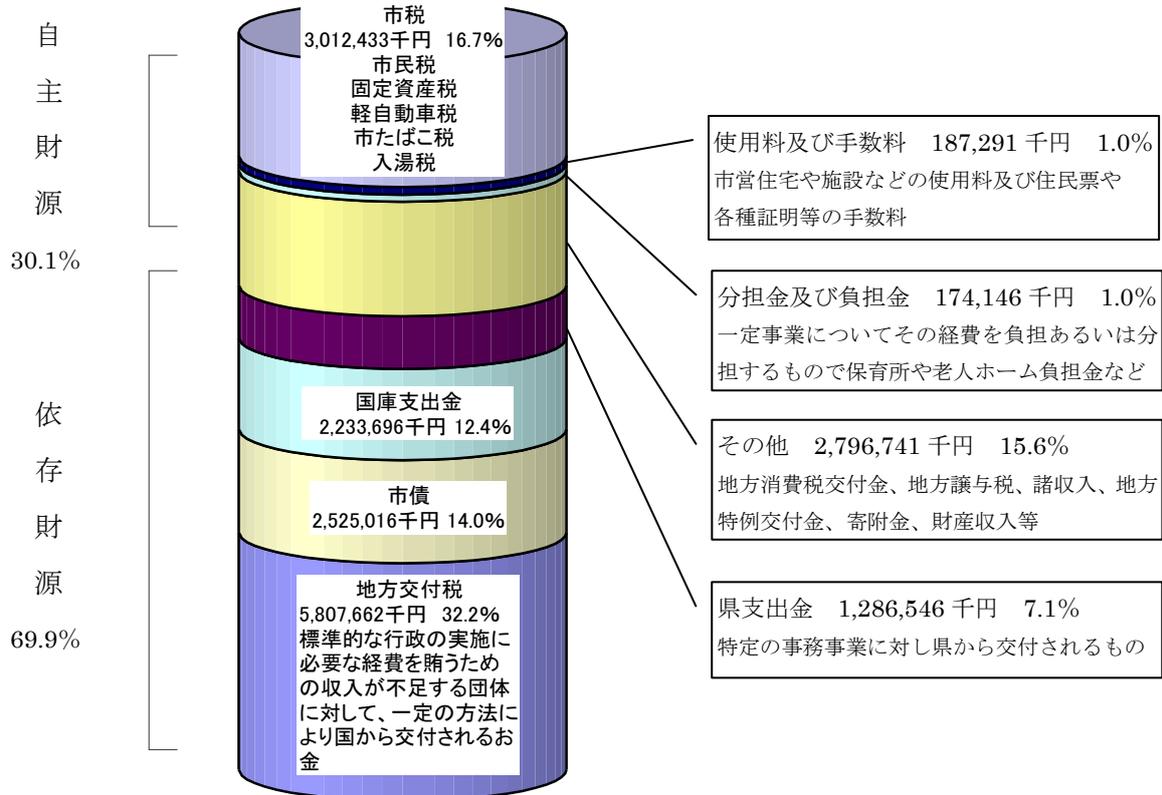
実質収支は4億5,536万2千円の黒字となりました。

### 【主な財政指標】

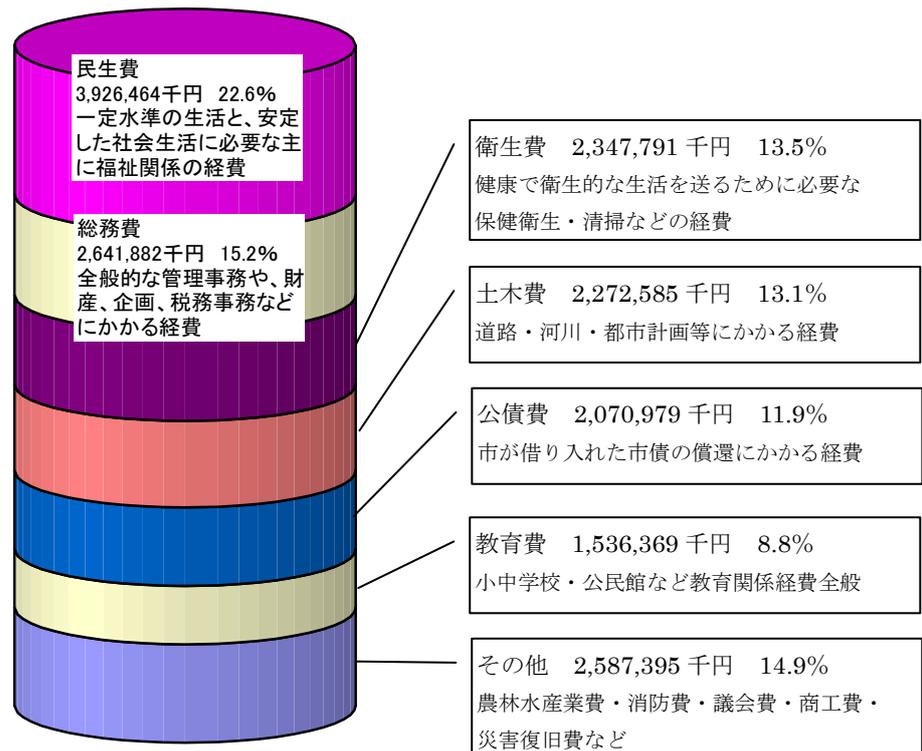
	27年度	26年度	差引	説明
財政力指数	0.40	0.40	0.00	普通交付税の算定に用いた基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年の平均で、高いほど財源に余裕があるとされる。
実質収支比率	5.0	5.4	▲0.4	標準財政規模に対する実質収支額の割合をいい、概ね3~5%が望ましいとされている。
経常収支比率	94.1	94.2	▲0.1	財政構造の弾力性を示す指標であり、人件費、公債費等の経常経費に、税、普通交付税等の経常的な一般財源が充当された割合で、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。
実質公債費比率	9.9	10.8	▲0.9	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率。18%を超えると許可団体へ移行する。3カ年の平均値。
将来負担比率	75.0	70.7	4.3	損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、350%が早期健全化基準とされている。

財政力指数は前年度と変わらず、また実質公債費比率については改善がみられたものの、将来負担比率は増加がみられました。持続可能な財政基盤を確立するために、健全な財政運営に一層努めなければなりません。

**歳入決算額 18,023,531千円**

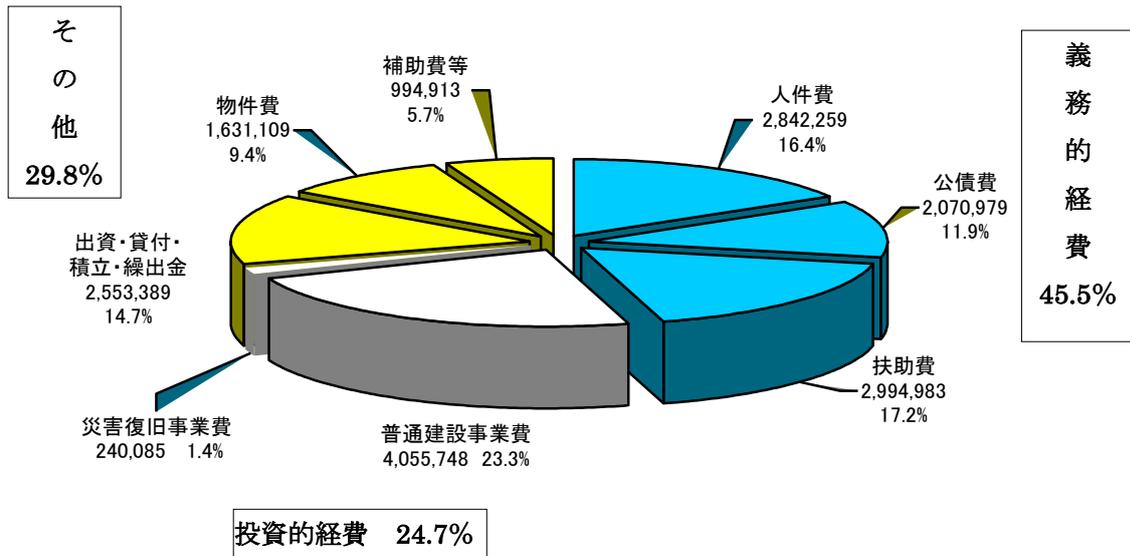


**歳出決算額 17,383,465千円**

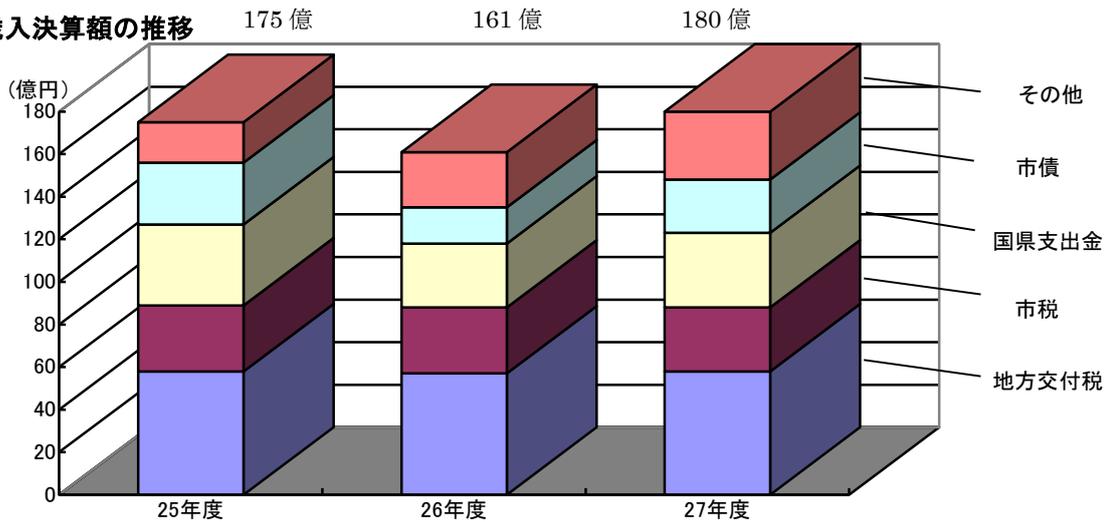


### 性質別歳出決算額

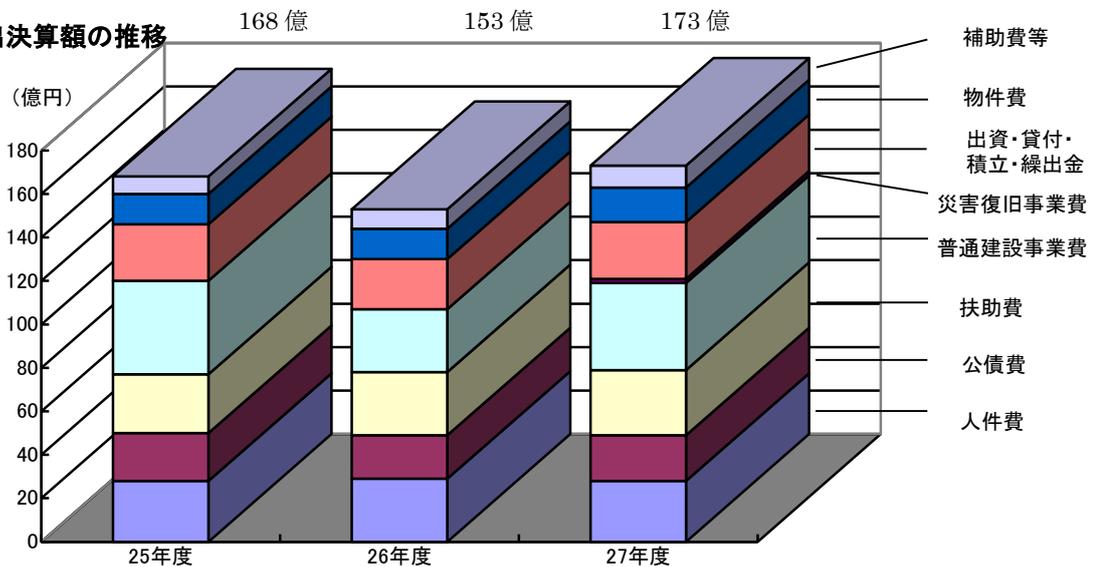
(単位：千円)



### 歳入決算額の推移



### 歳出決算額の推移



## 平成 27 年度決算の主要施策の概要

(単位：千円)

事業名	事業費	一般財源
○住民と行政とのパートナーシップによる『共生・協働のまちづくり』		
市制施行 10 周年記念事業	8,815	8,815
羽島交流センター改修事業	20,924	24
地区まちづくり協議会等補助事業	43,124	43,124
自治公民館建設整備補助事業	2,585	2,585
○健康で文化的な生活を営める『元気で安心できるまちづくり』		
合併処理浄化槽設置整備補助事業	96,712	3,090
危険廃屋解体撤去工事補助事業	15,771	15,771
最終処分場建設事業	395,300	3,268
上水道事業	162,988	32,778
簡易水道事業	210,769	20,899
定住促進対策補助事業	1,016	1,016
転入者住宅建設等補助事業	4,750	4,750
消防ポンプ自動車等整備事業	34,668	7,668
小型動力ポンプ付積載車整備事業（照島分団）	8,964	2,814
消防救急無線デジタル化整備事業	250,020	20
要援護者等屋内退避施設整備事業	148,947	0
臨時福祉給付金給付事業	36,126	0
不妊治療費助成事業	1,228	1,228
未来の宝子育て支援金支給事業	10,560	9,880
保育所緊急整備事業補助金（神村学園 認定こども園）	97,807	2,267
乳児紙おむつ購入費助成事業	3,327	3,327
子ども医療費助成事業	77,346	67,915
子育て世帯臨時特例給付金給付事業	10,827	0
長寿祝金支給事業	4,959	4,959
EATde 健康メニュー開発支援事業	2,091	1,046
小・中学校耐震補強等事業	556,476	11,913
「英語のまち」いちき串木野推進事業	4,336	4,336
スクールカウンセラー配置事業	842	842
特別支援教育支援員配置事業	11,784	11,784
スクールソーシャルワーカー活用事業	2,332	2,332
国民文化祭開催事業	19,973	11,373
市民文化センター空調改修事業	13,284	0
長崎鼻海水プールフェンス改修事業（実施設計）	1,998	1,998
B&G 海洋センター修繕事業	38,139	16,239

○世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力ある産業のまちづくり』

機構集積支援事業	3,658	0
中山間地域等直接支払交付金事業	16,885	4,438
農業基盤整備促進事業	4,000	1,800
経営体育成基盤整備事業（川南地区）	28,140	14,840
県費単独補助林道事業（舟川野下線）	3,540	2,124
まぐろ漁船母港基地化奨励及びまぐろ漁業振興対策補助事業	17,139	17,139
市来漁港浚渫事業	10,000	10,000
魚類種苗放流及び放流補助事業	2,766	2,766
漁場環境保全創造事業（人工魚礁設置）	14,650	3,400
広域漁場整備事業	8,000	800
串木野漁港広域漁港整備事業	6,139	639
羽島漁港地域水産基盤整備事業	4,067	467
戸崎漁港地域水産基盤整備事業	14,276	1,476
西薩中核工業団地分譲地購入事業	29,809	29,809
海外販路開拓支援事業	5,449	3,223
空き店舗等活用促進補助事業	11,720	11,720
市来駅バリアフリー化補助事業	61,335	61,335
食の拠点エリア整備事業	51,092	34,892
総合観光案内所整備事業	63,547	6,847
総合観光案内板設置等事業	10,513	5,257
いちき串木野づくり産業まつり補助事業	7,000	519
ふるさと納税推進事業	173,057	173,057

○利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』

道路改良特別事業	99,352	5,052
市道海瀬・坂下線改良事業	218,485	6,064
都心平江線改良事業	46,287	2,987
市道別府上名線改良事業（実施設計等）	54,762	2,762
市道内門古瀬戸線改良事業	9,400	9,400
市道草良線道路改良事業	44,985	85
橋梁長寿命化修繕事業	121,544	8,718
いきいきバス・いきいきタクシー運行事業	8,585	8,585
串木野新港改修統合補助事業	5,200	600
麓土地区画整理事業	598,414	158,751
西薩公園環境整備事業	19,376	9,688
住宅建設（ウッドタウン）事業	44,768	6,840
羽島地区単独住宅建設事業	28,384	84
住宅リフォーム補助事業	25,411	25,411

### 3.特別会計の決算状況

(単位：千円)

	歳入	歳出	差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
簡易水道事業	383,662	383,662	0	0	0
国民健康保険	4,898,854	4,885,283	13,571	0	13,571
公共下水道事業	679,440	679,440	0	0	0
地方卸売市場事業	10,517	10,517	0	0	0
介護保険	3,570,388	3,450,349	120,039	0	120,039
国民宿舎	169,518	169,518	0	0	0
戸崎地区漁業集落排水事業	15,329	15,329	0	0	0
療育事業	20,237	20,237	0	0	0
後期高齢者医療	400,768	396,743	4,025	0	4,025
計	10,148,713	10,011,078	137,635	0	137,635

### 4.平成28年度一般会計のあらまし

一般会計の10月末現在の総額は、162億44万6千円となっています。

予算の内容及び市税の負担状況、市債、市有財産の状況など図表などをもってお知らせします。

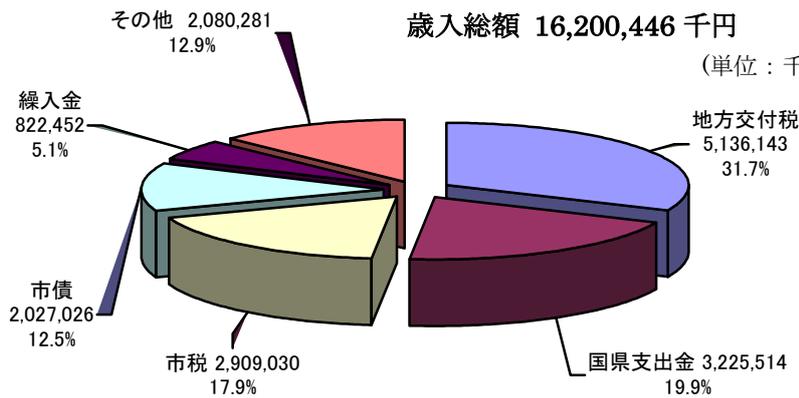
(単位：千円)

会計名		年度	平成28年度 10月末予算額
一般会計			16,200,446
特別会計			10,586,914
内 訳	簡易水道事業特別会計		558,730
	国民健康保険特別会計		5,188,547
	公共下水道事業特別会計		705,206
	地方卸売市場事業特別会計		714
	介護保険特別会計		3,666,431
	戸崎地区漁業集落排水事業特別会計		18,421
	療育事業特別会計		20,952
	後期高齢者医療特別会計		415,207
	国民宿舎特別会計		12,706
			26,787,360

### 一般会計歳入予算

歳入総額 16,200,446 千円

(単位：千円)

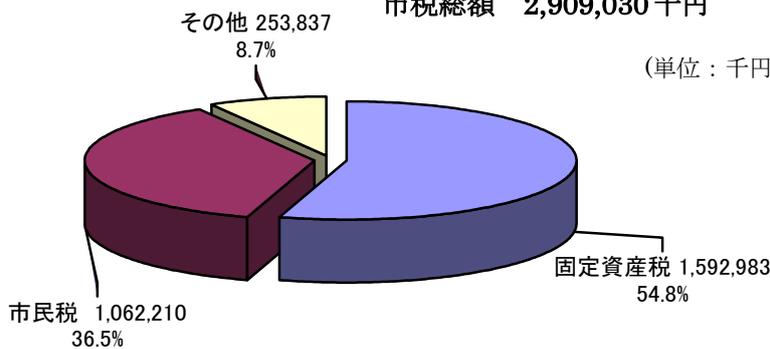


	千円	%
諸収入	125,679	0.8
地方消費税交付金	586,820	3.6
地方譲与税	124,121	0.8
繰越金	455,362	2.8
分担金及び負担金	156,665	1.0
使用料及び手数料	185,961	1.1
地方特例交付金	13,878	0.1
自動車取得税交付金	13,405	0.1
財産収入	38,840	0.2
利子割交付金	3,433	0.0
交通安全対策特別交付金	6,000	0.0
寄附金	350,002	2.2
配当割交付金	8,292	0.1
株式等譲渡所得割交付金	11,823	0.1

### 市税の内訳

市税総額 2,909,030 千円

(単位：千円)

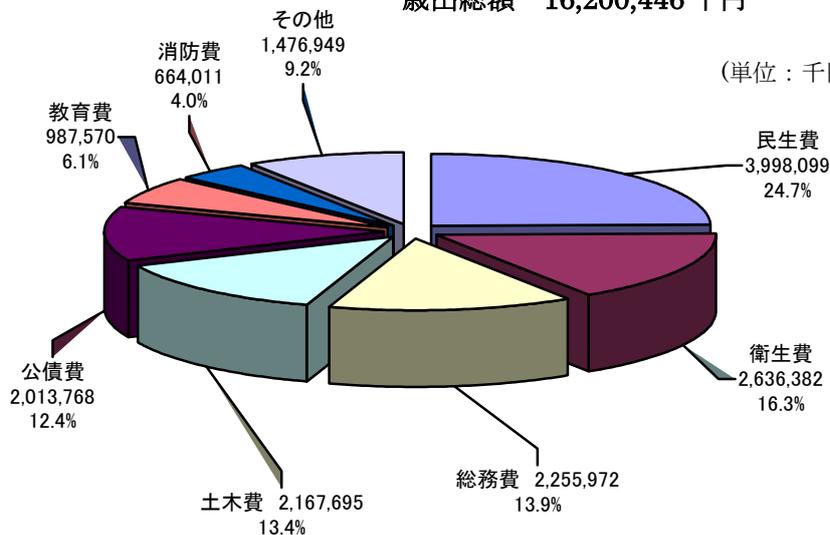


	千円	%
市たばこ税	169,654	5.8
軽自動車税	82,646	2.8
入湯税	1,537	0.1

### 一般会計費目別歳出予算

歳出総額 16,200,446 千円

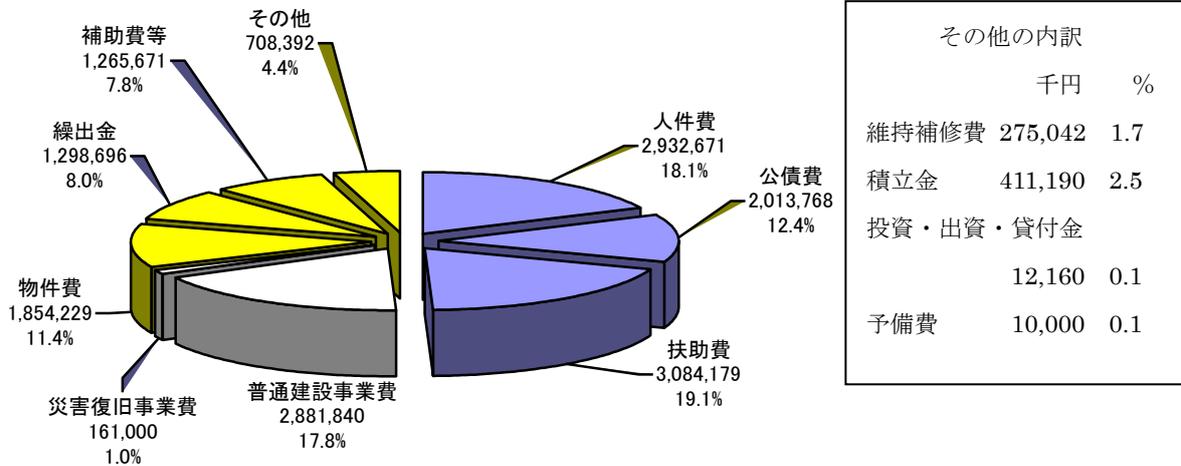
(単位：千円)



	千円	%
農林水産業費	809,835	5.0
商工費	324,929	2.0
議会費	164,044	1.0
災害復旧費	161,000	1.0
労働費	7,141	0.1
予備費	10,000	0.1

## 性質別歳出予算

歳出総額 16,200,446 千円



## 平成 28 年度予算の主な建設事業

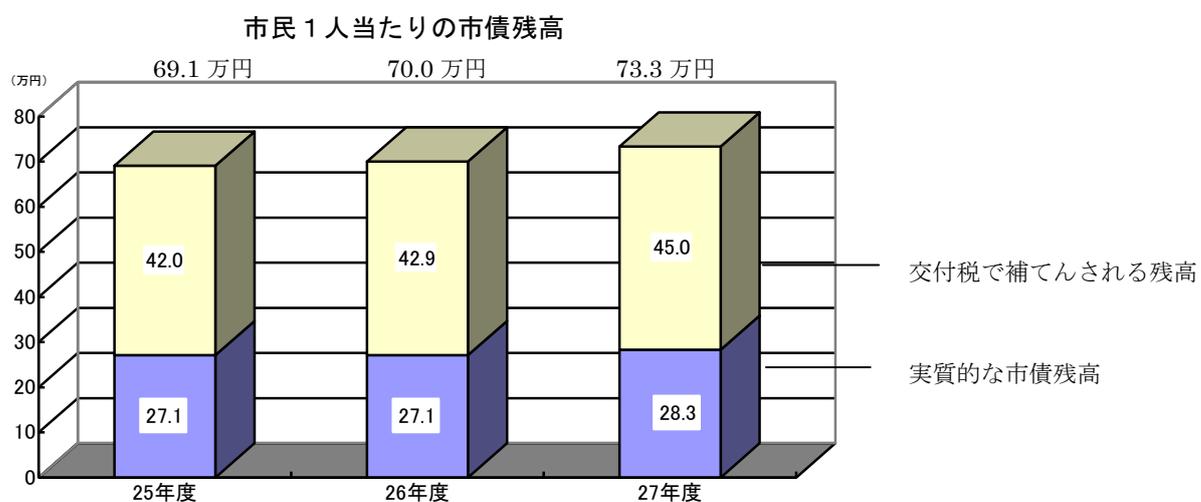
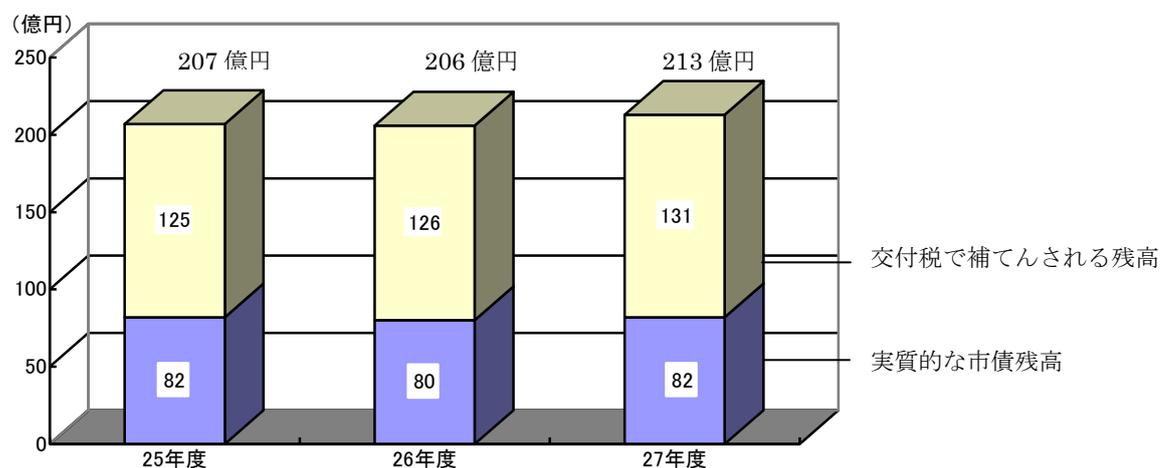
区分	事業名	区分	事業名
総務費	野平交流センター整備事業	商工費	食の拠点エリア整備事業
衛生費	串木野健康増進センター空調設備改修事業 合併処理浄化槽設置整備補助事業 最終処分場建設事業 最終処分場周辺環境整備事業	土木費	道路改良特別事業 道路維持事業 橋梁長寿命化事業 道路新設改良事業 県単急傾斜地崩壊対策事業 麓土地区画整理事業 郷之原第1公園トイレ整備事業 ひばりが丘団地改修事業 ウッドタウン住宅建設事業
農林水産業費	農業・農村活性化推進施設等整備事業（平ノ木場地区） 農業農村整備事業（川南地区ほ場整備） 観音ヶ池周辺整備事業 漁場環境保全創造事業（人工魚礁設置） 種子島周辺漁業対策補助事業 串木野漁港広域漁港整備事業 羽島漁港地域水産基盤整備事業 戸崎漁港地域水産基盤整備事業 水産基盤機能保全事業	消防費	消防車両更新事業（署用） 再生可能エネルギー等導入推進事業
		教育費	生冠中学校グラウンド改修事業 学校給食センター建設事業

## 市 税 負 担 額 (平成 25 年度～27 年度決算・28 年度予算)

区分	単位	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度 予算
市税総額	千円	3,148,105	3,092,425	3,012,433	2,909,030
1 人当たり	円	105,260	104,935	103,570	100,015
1 世帯当たり	円	234,583	229,954	224,306	216,607
人口	人	29,908	29,470	29,086	29,086
世帯数	世帯	13,420	13,448	13,430	13,430

注) 人口及び世帯数は、平成 25～27 年度は各年度末、28 年度は 28 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳登録者数による。また、市税総額は、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税及び入湯税の合計である。

### 5. 市債残高の推移



6. 市有財産の状況（平成 27 年度末現在）

名 称	現 在 高	名 称	現 在 高	
土 地	3,894,354 m <sup>2</sup>	基 金	6,027,963 千円	
建 物	180,063 m <sup>2</sup>	内 訳	財 政 調 整 基 金	1,075,054 千円
山 林（立木）	103,462 m <sup>3</sup>		市 債 管 理 基 金	1,868,181 千円
有 価 証 券	14,379 千円		合 併 ま ち づ くり 基 金	1,204,175 千円
自 動 車	145 台		施 設 整 備 基 金	286,309 千円
債 権	172,516 千円		そ の 他	1,594,244 千円

7. 一時借入金の状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

無（限度額は 15 億円）

8. むすび

平成 27 年度決算状況及び平成 28 年度予算の概要をお知らせしました。

平成 27 年度は市政施行 10 周年にあたり、式典の開催や市民歌・市民憲章の作成など、一連の記念事業を行いました。また、麓土地区画整理などの継続事業に加え、学校の耐震補強など教育施設の整備、共生・協働の地域社会の仕組みづくり、国民文化祭として薩摩藩英国留学生フェスティバルなど 3 つの事業の開催、総合観光案内所の整備やふるさと納税推進など地域活性化のための取組、未来の宝子育て支援金給付など、市民生活の各面にわたる事業を実施したところであります。

さらに、羽島交流センターに要援護者等屋内退避施設の整備を行うなど、市民の安心安全確保のための事業を実施し、おおむね所期の成果を収めることができました。

このような事業を推進したうえで、平成 27 年度の一般会計及び特別会計は、すべて収支の均衡を保つことができました。

本市の財政状況は、国の景気対策や行財政改革の効果等により一定の改善に努めてきたものの、人口減少と高齢化が進むなかで市税は減少傾向にある一方、社会保障関係費や自然災害に伴う災害復旧費などの歳出増により、厳しい局面を迎えています。

今後も普通交付税の段階的縮減や、公共施設の老朽化による更新維持管理費の増加などが見込まれ、従来にも増して厳しい財政状況が見込まれますので、事業の取捨選択や優先順位の設定をこれまで以上に徹底し、抜本的な見直しによる行財政改革を進め、健全財政を堅持していかなければならないと考えております。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。